

Press Release

報道関係各位

2007年12月19日

病院のレセプトも医療データに 疾病など傾向を分析
日本医療データセンター、『JMDC データで読む ヘルスケアレポート』配信を開始

株式会社日本医療データセンター

医療データベースの構築・分析および健康保険組合へのソリューション提供を行う株式会社日本医療データセンター（東京都千代田区、代表取締役：木村 真也）は、レセプトなどから構築したデータベースを利用して、日本人の健康や疾病の傾向を分析した『JMDC データで読む ヘルスケアレポート』の配信を12月20日より開始いたします。

『JMDC データで読む ヘルスケアレポート』は、健康診断データや医療機関受診時に作成されるレセプトなどから個人情報排除し、健康診断の毎年の数値や連続する治療内容のように経年とともに変化する情報を網羅的・時系列的に分析できるデータベースを利用して、生活（健診）と病気と医療費の関係をデータからひもとき、ヘルスケアへの意識付けを促すエビデンスベースのレポートです。一般の方にも分かり易く解説することで、健康と医療の関係に関心を持っていただき、それが生活習慣を見直すきっかけになり、健康な生活を送ることが出来る人が増えることを目的に企画されました。将来的には、健康についてのアンケート結果や食事調査記録、運動記録（例えば個人の万歩計データ）、などから収集したデータも突合し、生活に密着した総合的な分析が可能になります。

尚『JMDC データで読む ヘルスケアレポート』は、毎月1回プレスリリース形式で配信され、内容は、連動企画として、同社の健康保険組合向け「メタボリックシンドローム対策・予防レシピ集『Pep! eco-recipe（エコレシピ）』」上で、家庭の主婦が読みやすいように、更に生活感のある記事を掲載する予定です。

Press Release

■ この件に関するお問合せ先：

株式会社日本医療データセンター

ヘルスケア事業開発部 メールアドレス：FAQ@jmdc.co.jp 電話：03-3511-6781

担当(小沼/岸村)

□ 背景および日本医療データセンター(<http://www.jmdc.co.jp/>)について：

レセプト（診療報酬明細請求書）には、豊富な医療情報が含まれているにもかかわらず、今までは個人情報の問題や、医療機関ごとに異なる用語やフォーマットなどにより、データとして利用することが大変難しい状況でした。2008年4月には、医療制度改革に伴う健康保険法改正により、国内全ての健康保険組合に「医療費削減」を目的とした「組合員の健康増進等」が義務づけられます。

このような背景のなか、国や健康保険組合の施策に対し、改善に繋げるための「検証」というプロセスの必要性から、株式会社日本医療データセンターでは新たなメタボリックシンドローム対策のソリューションを開発。医療機関が健康保険組合に医療費請求時に使用するレセプトから、個人を特定しない医療データ生成・分析を行うことができる、日本初の会社として、健康保険組合および製薬会社などにデータ活用ソリューションを提供しています。

□ JMDC データ（ジャムダックデータ）とは：

株式会社日本医療データセンターが約33万人（2007年11月現在）の健康保険組合加入者から収集した健康診断やレセプト情報を解析したデータ。個人を特定しないよう加工され、時系列での処理が可能のため、治療の経過などを疫学的に検証することが可能です。

□ 『JMDC データで読む ヘルスケアレポート』とは

健康診断データとレセプトデータを分析し、健康に関するトレンド等を配信するレポート。わかりやすい平易な用語・文章とグラフで、「ヘルスケアをもっと身近に感じ、私生活を振り返るきっかけ作りを」目的に企画された。毎月1回プレスリリースとして配信を予定。

□ 『Pep! eco-recipe (エコレシピ)』とは：

* 3大生活習慣病の引きがねとなる「メタボリックシンドローム」を改善・予防する効果的な手段の一つに食生活の改善があります。日本医療データセンターが、管理栄養士チームと開発した『Pep! eco-recipe (エコレシピ)』は、朝晩のカロリーを1150kcal程度に抑え、毎日の食事作りを支援するレシピと、生活習慣を改善するモチベーションとなるような記事を

Press Release

提供しています。また保健指導ツールとしても、健康保険組合で導入を頂いています。